

児童発達支援ガイドライン自己評価表

アンケート実施期間:2024年12月
結果公表日:2025年3月27日

回答率

事業所職員: 4名回答、回答率 100%
保護者様: 29名回答、回答率 83%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・教室の環境面の質問に対して、半数が「適切である」、半数が「どちらとも言えない」と回答をしている。パーテーションの位置を変更し、教室をできるだけ広く使えるよう配置した。
- ・お子様が活動内容の流れを確認し見通しを持てるようにホワイトボードを活用して視覚提示をしたり、入退室時に自分で荷物の支度ができるようにイラスト付きのボックスを配置している。今後もより良い環境整備のために最善の工夫が必要である。

○業務改善

- ・職員間でMTGの時間を設けているが、全員で話し合う時間は限りがあるため、ノートやPCを活用して情報共有ができるように工夫している。
- ・指導員の品質向上の為に本社にて階層別の研修を実施している。

○適切な支援の提供

- ・職員全員で支援に関する意見や子どもの様子等を話し合い、5領域に合わせて個別支援計画の課題・目標を確認しながら内容や進め方を検討している。
- ・今年度から調理活動やお買い物練習等の支援のバリエーションを増やし、工夫している。

○関係機関や保護者との連携

- ・モニタリングについて、定期的に相談支援員と連携し、教室の様子を見に来ていただいている。また、担当者会議を通して子どもの様子を情報共有しながら自教室でできる支援を検討して対応に努めている。
- ・「日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか」という質問では全職員が「はい」と回答した。保護者様よりご相談があった際にはフィードバック以外に事業所内相談支援や関係機関への訪問をして連携をしている。

○保護者への説明責任等

- ・今年度より保護者様全体に向けたフィードバックの形態となったが、ご相談をいただいた場合に助言をしたり、ご家庭や教室で出来る対応をお伝えしている。

○非常時等の対応

- ・緊急時対応マニュアルの作成をしている。
- ・安全計画に沿って火災・水害・地震などを想定して月1回避難訓練を実施している。
- ・虐待・身体拘束に関して、全職員が研修を受講している。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

・教室の環境について、「からだを動かすのには狭く感じる」という意見がある一方で「適度な広さで集中できてありがたい」や「活動の時間ごとサーキットを作ったり机を出し入れして空間を作ってくれている」との意見を頂いた。

・職員体制については少なからずご意見があったが、「いつも親身になってくださり、とても心強く思っている」というご意見を頂いた。

○適切な支援の提供

・「児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思うか」の質問に対して、約90%の方が「はい」と回答。その一方で「どちらともいえない」と回答もあったため、フィードバック以外に、必要に応じて面談のご案内や毎月お渡ししている記録に目を通していただけるよう周知していく。

・「事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思うか」の質問に対して、「イベントが多くて嬉しい」との意見を頂いた。

○保護者への説明等

・「事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明があったか」の質問に対し、「はい」と回答した方が100%だった。

・「日頃から子供の状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか」の質問に対し、「はい」と回答した方が90%だった。そのなかで「保護者送迎のため、毎回教室にて先生と対面でコミュニケーションがとれている」とのご意見を頂いた。

○非常時等の対応

・「非常災害の発生の備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか」という質問に対して、「はい」と回答した方が75%だった。その他「わからない」との回答も頂いた為、引き続き、必要な訓練を行っていることを全ての利用者へ周知していく。

○満足度

・教室体制に関するご意見はあったものの「支援に満足しているか」という質問に対し、90%の方が「はい」と回答してくださり、「いつも親身になってくださり、とても心強く思っている」とのご意見を頂いている。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

・曜日や実施時間を分散して避難訓練のプログラムを設け、1年間でできるだけ多くの利用者に対して訓練を実施する。また、避難訓練実施後には、内容や実施時の様子等を掲示物として貼りだし周知を行っていく。

・毎月2件ブログを更新し、日々の活動内容を発信する。また、フィードバック室にブログのQRコード付きの掲示物を貼り、ブログの存在も周知していく。

○改善できた点・まだ残る課題

・教室の玄関口に支援の月間スケジュールとして避難訓練の実施日を掲示しフィードバックでも様子について周知した。より多くの方に周知できるように、実施後に内容掲示できるようにする。

・ブログの発信ができていない為、季節ごとのイベント実施等定期的に教室の様子や活動内容等について発信していけるようにする。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・ご利用するにあたっての説明やご利用後の療育面でのフィードバックがしっかり行われている。
- ・児童発達支援計画に沿った支援を行っている。
- ・各種関係機関との連携を図り、統一した支援を行うことで子ども達が安心して通っている。
- ・児童発達支援計画に沿ったプログラム内容や季節ごとのイベントを行うことで支援に満足して頂いている。

○改善点

- ・避難訓練を教室として実施しているが、非常災害の発生に備え、指導員間での必要な訓練を行う。
- ・保護者会等を実施し家族同士の交流の機会や家族への支援の場を設ける。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・毎月実施する避難訓練の日時やテーマについて保護者に周知する。
- ・月初に活動内容を教室前に掲示し、定期的に発信する。
- ・年に2回、保育参観や保護者間の交流の場を設ける。

○1年間で取り組む具体策

- ・毎月、曜日を分散して避難訓練のプログラムを設け、1年間でできるだけ多くの利用者に対して訓練を実施する。また、避難訓練実施前後には実施日や内容等を掲示物として貼りだし、周知を行っていく。
- ・毎月、相談室や玄関口に月間の支援スケジュールを掲示し、全体フィードバック時に当日の活動内容について共有する。また、イベントを実施する場合はお便りを配布し、ブログを通して様子や実施内容を発信する。
- ・年間で2回、保護者参加型のイベントや保護者会を実施し、保護者同士の交流や情報共有の場を設ける。